

## ゴール10「人や国の不平等をなくそう」

SDGsゴール10は「人や国の不平等をなくそう」を目標としています。

世界では、性別、障がい、人種、民族、宗教などの状況により、不利益を被り、差別を受けている人がたくさんいます。また、これらの不平等により、貧困から抜け出せない人がいて貧富の格差が拡大しています。世界人口のもっとも豊かな1%の人が世界全体の富の約33%を持っており、最も貧しい25%の人が持っているのは世界全体の富の約10%にすぎません。

日本では、厚生労働省の国民生活基礎調査によると相対的貧困率が15・4%であり、約7人に1人が貧困状態にあることが分かります。また、子どもの貧困というキーワードもよく取り上げられ、問題視されています。



貧困や飢え、争いごとをなくすためにも、様々な不平等を減らすことが求められています。

○行政の役割としては

差別や偏見の解消を推進する上でも自治体は主導的な役割を担っています。少数意見を吸い上げつつ、不公平・不平等のないまちづくりを行うことが求められています。

○私たちができること(例)

- ・ 違いを認め合い、理解する。
- ・ 不平等について調べてみる、関心を持つ。

2030年までの国際的な目標の実現に向け意識をして実践しましょう。

### 私たちができること(例)

久留島武彦の教えに「信じあうこと」「助け合うこと」「違いを認め合うこと」とあります。玖珠町ではSDGsよりもずっと前から人や国の不平等をなくすきっかけを身近に感じていたのではないのでしょうか。

ゴール10の目標達成に向けて実践してみましょう。



不平等について調べてみる



## 目標達成のためのターゲット

- 2030年までに、年齢、性別、障がい、人種、民族、生まれ、宗教、経済状態などに関わらず、すべての人が、能力を高め、社会的、経済的、政治的に取り残されないようにすすめる。
- 財政、賃金、社会保障などに関する政策をとることによって、だんだんとより大きな平等を達成していく。
- 世界経済や金融制度について何か決めるときに、開発途上国の参加や発言を増やすことによって、より効果的で、信頼でき、誰もが納得することができる制度を作る。

SDGs 10「人や国の不平等をなくそう」では、上記のような10のターゲットを掲げ、目標達成に向けて取り組みを進めていきます。

※公益財団法人 日本ユニセフ協会HP引用

問 みらい創生課 企画・SDGs推進班 ☎(72)1151